

## 心身の健康について(白金キャンパス保健室・学生相談室)

充実した学生生活をすごすためには、まず心身の健康が基本です。長い学生生活の中では、時には健康をそこねることや自分だけでは解決できない悩みが生じることがあるかもしれません。白金キャンパスではそんな時の助けとなる様に、健康管理については保健室が、また個人的な悩みについては学生相談室が設けられていますので、気軽に利用してください。

### <健康管理>

#### 1. 白金キャンパス保健室の利用について

白金キャンパス保健室では、学生の皆さんの健康を維持し増進させていくことを目的とした健康管理と健康相談を行っています。

##### 【保健室開室時間】

曜日	保健室開室時間
平日（月～金）	8：45～11：00、12：00～17：00
土曜日	8：45～12：00（土曜日は月1回のみ開室）

※日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始は閉室します。

##### 【校医による健康相談（要予約）】

（内科医） 毎週 月・水・金曜日 12：30～13：00

（精神科医） 第1・3 木曜日 12：30～13：00

##### 【場所】 白金キャンパス薬学部1号館1階

TEL：03-5791-6234（保健室直通）（月～金）開室時間のみ対応

#### 2. 定期健康診断について

毎年4月に学校保健安全法に基づき、全学生を対象に定期健康診断を実施しています。皆さんの健康状態を知り1年間の健康サポートの資料としますので、全員必ず受診してください。特に自覚症状の少ない胸部疾患などは、この定期健康診断によって判明する場合があります。早期に治療を受ければその効果も大きいと思われます。また、就職活動やアルバイト、進学・実習などの際に必要な「健康診断証明書」は、定期健康診断の結果に基づいて作成しますので、受けていない学生には発行されません。保健所、病院でも「健康診断書」の発行がなされますが、日数がかかり、金額も高くなりますので、大学の定期健康診断を受けることをおすすめします。

なお、企業などに在籍しており、そちらで定期健診を受ける場合は、白金キャンパス保健室にその旨申告し、健診結果のコピーを保健室に提出することで本学の健康診断を免除します。

### 3. 宿泊を伴う課外活動への参加について

定期健康診断を受けなければ、北里会所属団体の宿泊を伴う課外活動には参加できません。また、定期健診を受けていても「所見あり」で、必要な再検査を受けない場合も同様です。また持病がある方は前もって主治医に相談し、無理をしないように心掛けてください。健康に不安がある場合は、早めに白金キャンパス保健室へご相談ください。

### 4. **遠隔地被保険者証**について

医療機関で診療を受ける場合、保険証がないと経済的負担が大きくなるため、健康保険証・加入者扶養者証または遠隔地被保険者証を携帯してください。家族と離れて生活している学生で、加入者被扶養者証がない場合は、「遠隔地被保険者証」を取り寄せてください。手続き方法は①在学証明書（証明書自動発行機パピルスメイトで発行）あるいは住民票を持って、②国民健康保険の場合は出身地（家族の住んでいる所）の市区町村役場の窓口で交付を受けてください。その他の一般の健康保険の場合は、上記の手続きと同様にして、各健康保険取扱い事務所で交付を受けてください。

### 5. 北里研究所病院の利用について

北里研究所病院を利用する場合には、「学生証」「健康保険証」（コピー不可）または、「遠隔地保険証」を必ず携帯し提示してください。

保健室が発行する紹介状や他医療機関の紹介状を持参することにより、大学病院等を受診すると徴収される「初診時の選定療養費」（北里研究所病院の場合 3,240 円程度）が免除されます（初診料と治療費はかかります）。緊急の場合以外は、保健室で紹介状を発行してもらい受診してください。

なお、初診で緊急受診の際に健康保険証がない場合、当日は実費払いとなりますが、診療月内に健康保険証を提示すれば、精算されます。

#### 【北里研究所病院】

- ・診療受付時間 月～金曜日 8:20～11:30、12:50～16:30（午後は予約のみ）  
土曜日 8:20～11:30（第4土曜日は休診）
- ・診療科によっては特殊外来や手術日などで受診できない場合もあります。

#### **白金キャンパス保健室閉室時並びに休日・夜間等学内外で緊急を要する事態が発生した場合**

- ・北里研究所病院の時間外受付へ連絡の上、受診してください。  
北里研究所病院 時間外 TEL: 03-3444-6171～2
- ・電話の際は、北里大学生であることを伝えてください。
- ・重症の場合は、消防署（119）へ通報し、救急隊の指示に従ってください。

また、北里大学病院・北里大学東病院・北里大学メディカルセンターの受診を希望される場合も白金キャンパス保健室へご相談ください。

## 6. 感染症にかかった際の対応について

学校保健安全法において指定されている感染症に罹患した場合は、必ず白金キャンパス保健室または白金キャンパス大学事務室へ連絡し指示を受けてください。北里大学生として感染拡大防止に努めてください。その他の感染症に罹患し対応に困った場合は、白金キャンパス保健室に相談してください。

### 北里大学における出校停止が必要な主な感染症とその期間

※インフルエンザ、感染性胃腸炎（ノロウイルスを含む）の治癒証明書発行は罹患時に各学部事務室および保健室に報告が必要です。

※病院・薬局実習を行う場合は、医師の判断あるいは実習等を行う施設の就業制限規則に準じて、下記基準を変更して判断する場合があります。

疾患名	感染経路	出席停止期間の基準	診断書等取扱い
インフルエンザ	飛沫	発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日間かつ、解熱後2日間を経過するまで★ （★発熱が続く場合は、更に延長する）	保健室で治癒証明書を交付（外部病院実習中を除く）
※37.5℃以上の発熱・関節痛等のインフルエンザ様症状がある場合は、感染拡大防止のため <u>大学に登校しないで</u> 所属するキャンパスの保健室へ連絡を行い、必ず近隣の医療機関を受診すること（学内でインフルエンザ様症状が出た場合も同様）。自宅療養の指示を受けた場合は、教育的不利益が生じないように配慮しますが、事前に連絡がない場合は配慮できない場合がありますので注意してください。学内掲示を参考にしてください。			
ノロウイルス腸炎 （疑いを含む）	接触・飛沫・空気	症状消失後 48 時間後まで登校不可	保健室で治癒証明書を交付（外部病院実習中を除く）
感染性胃腸炎 （疑いを含む）	接触		
麻疹（はしか）	空気・飛沫	解熱後3日を経過するまで	講義・実習等の欠席届の申請書は所属学部事務室にて行う。 診断書提出の要否は所属学部事務室に確認する。
水痘 (帯状疱疹は下記参照*1)	空気・飛沫・接触	全ての発疹が痂皮（かさぶた）化するまで	
風疹	飛沫・接触	発疹が消失するまで	
流行性耳下腺炎 （おたふく）	飛沫・接触	耳下腺の腫脹が出現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	
流行性角結膜炎	接触	眼瞼結膜の発赤消失まで （眼科医を受診し了解を得たうえで登校可能とする）	

帯状疱疹 *1)	接触	発疹が消失するまで感染力あり。病変部を適切に被覆すれば登校は可能となる場合もあるが、医師の指示を確認する。但し、病院・保育園実習等の場合は実習不可の場合もあり。	
疾患名	感染経路	出席停止期間の基準	診断書等取扱い
百日咳	飛沫・接触	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで	講義・実習等の欠席届の申請書は所属学部事務室にて行う。 診断書提出の可否は所属学部事務室に確認する。
髄膜炎菌性髄膜炎	飛沫・接触	症状により医師等において感染の恐れがないと認めるまで	
結核	空気・飛沫	症状により医師等において感染の恐れがないと認めるまで	

### 【37.5℃以上の発熱があったら・・・】

37.5℃以上の発熱がみられるときは、インフルエンザ等何らかの感染症にかかった場合が考えられるため、キャンパス内への立ち入りを制限しています。感染拡大防止のためにも、近隣の医療機関を受診して発熱の原因を診断してもらってください。登校禁止が定められている疾患の場合は、白金キャンパス保健室（インフルエンザの場合は白金キャンパス大学事務室）へ連絡し、医師の指示に従い登校を停止してください。

病院・薬局実習中の場合は、いつから実習への参加が可能か、受診先の医師に確認してください。

## 8. 予防接種について

薬学部では、学生生活の中での感染拡大を防ぐために、麻疹（はしか）・風疹・流行性耳下腺炎（おたふく）・水痘（水ぼうそう）の4種感染症ワクチン接種や、病院・薬局実習に備えてB型肝炎ワクチンやインフルエンザワクチン接種を実施しています。対象学年と予防接種の種類は以下の通りです。事前に予防接種の通知を行うため、ポータルサイト等で確認してください。対象とならない学年で希望する学生は、各自医療機関を受診してください。海外渡航時（留学など）や研究活動・就職に必要な予防接種については、白金キャンパス保健室にご相談ください。

学 年	予防接種の種類	費用負担
入 学 時	麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘	学部負担 (但し、学部で実施する予防接種日以外で実施する場合は自己負担)
薬学科 4 年	麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘 B型肝炎	
薬学科 5 年	インフルエンザ	
薬学科 6 年	インフルエンザ	

## <学生相談室について>

学生相談室は、大学生活で生じた個人的な悩みについて相談する場所として用意されています。

たとえば... { 学業について、進路について、性格について、対人関係について、  
心身の健康について、その他どこで相談すればいいかわからない問題…  
など }

薬学部の学生であれば、どなたでも気軽に利用できます。

カウンセラーと話し合いながら、自分自身について、抱えている問題について考えていきます。また、相談内容によっては、必要に応じて適切な場所を紹介することも出来ます。なお、個人の相談に関する秘密は、固く守られています。

### 利用方法

薬学部1号館1階の学生相談室へ直接来てください。可能な限りその場で相談に応じますし、他の日時に予約を入れることもできます。電話やメールでの予約も受け付けています。

※相模原キャンパスにおける学生相談室は、L2号館1階に設置されています。